

プラハ


チェコ共和国

PRA	HA
PRA	GUE
PRA	GA
PRA	G



プラハは「欧州の心臓」、あるいは「母なる町」と呼ばれています。この他にも人々は、何世紀もの間に、「百塔の町」、「黄金のプラハ」、「神秘のプラハ」などなど、プラハの様々な呼び名を考え出し、それによってこの町の建築学的、あるいは精神文化的な豊かさ、そしてその神秘的な魅力を表現しようとしてきました。かつて神聖ローマ帝国、そしてチェコ王国の中心都市であった町、そして今日チェコ共和国の近代的大都市となった町 — プラハの栄光ある歴史の軌跡は、市内いたるところで目にすることができます。

用語解説

旅のヒント

話題、逸話、文化的催し、イベントなどなどプラハの多様な顔をよりよく知るための情報です。

プラハ・トップ10

プラハ探求者必見！ 本書厳選のプラハで最も美しい場所ベスト10です。

ガイド付きプラハ観光

名所旧跡や歴史的な見所、あるいは有名人の軌跡などの、プロのガイドの解説付きツアーをご紹介します。



このサービスをオンラインで販売しているサイト www.praguewelcome.com には、QRコードよりアクセスできます。

1. プラハ城

旧王宮階段を上ってプラハ城内に入ったら、城の中庭や、王宮の内装をとくど見学ください。聖ビート大聖堂からは、かつて錬金術師あるいは怪しげな薬師が群がっていた場所、黄金の小道に出ることができます。

2. ヴィシェフラッド

キリスト教徒の到来前、多神教の王侯がその森の神に祈りをささげた場所・ヴィシェフラッドの城跡の雰囲気を味わってみてください。ここでは今日プラハで最も美しい教会に数えられる聖堂も見ることができます。

3. 宮殿の庭園

プラハ城下にあるバロック庭園で英気を養いつつ、マラー・ストラナを縦横上下に走る狭い小道の散策をお楽しみください。

4. カレル橋

この石の橋は、早朝、そのバロック式の彫像を観光客が覆ってしまう前に歩いてみてください。

5. 旧市街広場と天文時計

旧市街広場は、まさにプラハの心臓に当たります。旧市街市庁舎の天文時計に、毎正時に現れる十二使徒の人形をご覧いただいた後は、広場を囲むバロックの建物のアーケード下でビールやコーヒーを飲みながら、広場の雑踏や、ティーン教会の塔の景観を楽しむことができます。

6. ユダヤ人街・ヨゼフオフ

旧ユダヤ人ゲットで、フランツ・カフカやプラハの歴代ラビの軌跡を辿ってみませんか。

7. プラハ幼少キリスト像

勝利の聖母マリア教会では、巡礼の人々が、有名なプラハ幼少キリスト像に保護と助力を求めています。

8. 市民会館

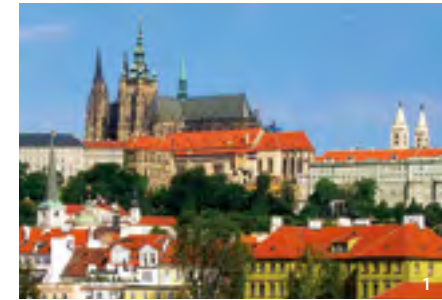
チェコ・アールヌーボーを代表する建物、市民会館では、モーツァルトやヴィヴァルディのコンサートを鑑賞することができます。

9. ペトシーン

木々に囲まれたペトシーンの丘に佇んでいると、大都会の中心地にいることが嘘のように思われます。

10. エステート劇場

エステート劇場は、1787年、ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト自らの指揮で、「フィガロの結婚」の初演が行われた場所として知られており、以来このオペラ作品は、今日に至るまでこの劇場で繰り返し公演されています。





旧市街広場



聖イジーのバシリカ



旧市街広場の天文時計



聖ミクラーシュ教会



歌う噴水



トロヤ城の観光客



クレメンティヌム 内部

プラハは常に、時代を通じて、欧州のあらゆる建築様式の影響を受けてきました。今日この町が世界に誇る、極めてユニーク且つ広範な歴史地区は、既に1992年にユネスコ世界文化遺産に指定されています。

ゴシック、ロマネスクの宝石

プラハ最古の宗教建築物は、11世紀に建てられた、約1mもの厚みを持つ頑強な外壁が特徴の、**ヴィシェフラッ**の**聖マルチンのロトゥンダ**です。また最も有名なものは、**プラハ城**内にある**聖イジーのバシリカ**で、その内部にはチェコの守護聖人、聖ルドミラの墓標が納められています。一方プラハにおけるゴシック建設は、14世紀、神聖ローマ帝国皇帝にしてエコ国王カレル四世の時代に最盛期を迎えます。プラハ城内の**聖ビート大聖堂**、及び**旧王宮**は、欧州建築遺産の中でも最も貴重なものに属します。

プラハ城のシルエットを背景とした**カレル橋**の写真は、今日プラハのビジュアル・シンボルとなっています。全長500mあまりのこの橋は、壮大な塔と31体の彫像で飾られていますが、中でも最も有名な彫像は、聖ヤン・ネボムツキーのバロック像です。

高さ70mの塔と3棟の建物から成る統合建築体である**旧市街市庁舎**の最大の魅力は、毎時正時に十二使徒の木像が現れる天文時計です。

一方、高さ80mの双塔を擁する**ティーンの前の聖母マリア教会**は、設立当時はプラハで最も高い建物でした。この教会は、デンマークの天文学者、ティコ・ブラーエが埋葬されていることでも知られています。

天文時計の逸話

プラハ天文時計の名声は欧州全土に広がり、これを設計したチェコ人時計技師ハヌシュに、自分の町にもプラハと同じくらい精巧な器械を作らせようと要請する人が後を絶ちませんでした。これに対して、プラハの評議員は、町のシンボルを真似させまいとして、ハヌシュの目をつぶさせたということです。この他にも様々な旧市街市庁舎天文時計にまつわる伝説がありますが、「天文時計が止まると、戦争が勃発する」という言い伝えも、その一つです。

プラハ・ルネッサンスの美

プラハにイタリア・ルネッサンス様式で建てられた最初の建物の一つが、フラツチャニ広場の壮麗な**シュワルツェンベルク宮殿**です。そのすぐそばには、人気歴史ドラマ「ボルジア」の撮影場所ともなった**マルティニツ宮殿**がありますが、これら二つの建物はいずれも美しいズグラフフィート装飾で知られています。

プラハ・バロックの真珠

マラー・ストラナの**聖ミクラーシュ教会**は、アルプス以北で最も価値の高いバロック建築物と言われています。その内部は、聖ミクラーシュの生涯を表す壮大なフレスコ画で飾られています。またここには4,000本ものパイプを擁するオルガンがありますが、作曲家モーツァルトも、これを弾く機会をほとんど逃すことはなかったと言います。

クレメンティヌムは、中央ヨーロッパで最も規模の大きなバロック建造地区です。この中にある高さ68mの天文観測塔と、18世紀の貴重な地球儀が置かれているバロック式図書館は必見です。ここにはまたチェコ最古の気象観測所もあります。

プラハ城下からマラー・ストラナに続く坂沿いに点在する**バロックの庭園**は、最高の休息場。中でも三段式のヴルトバ庭園とヴァルドシュテイン宮殿の庭園は特にお勧めです。

旅のヒント

アンナ王妃の夏の宮殿の「王家の庭園」には、ルネッサンス式の「**歌う噴水**」があります。プロンズの水盤の水が叩く音は、遠くから響き渡る教会の鐘の音のようです。下の水盤の裏面に耳をあてて、よく気を付けて聴いてみてください。

ブルタバ川の遊覧船に乗って、美しい庭園とギャラリー、そしてワインセラーを擁する**トロヤ城**を訪ねてみませんか。城の近くには、動物園、そして植物園もあります。船は3月末から10月末までラーション河岸通りから就航、出航時刻は毎日9:30、12:30、そして15:30です。

ガイド付きプラハ観光



建築学ツアー プラハで最も美しい建築物を、その完成にまつわる解説付きでご案内いたします。



市民会館

プラハ・アールヌーボーの傑作

アールヌーボー建築の特徴は、オーナメント、植物をモチーフにした形態の豊かさ、セラミック、金、エナメル、そして色鮮やかなカット・ガラスによる装飾です。この様式は20世紀初頭に最盛期を迎えましたが、王侯都市・プラハに、壮大な公共建築物、**市民会館**(Náměstí Republiky 5) が建てられたのもこの頃です。その高雅な外観を形成しているのが、時代を代表する芸術家の手による装飾ですが、その中には有名なアルフォンス・ミュシャの作品も含まれています。バーツラ

フランチšek・ビーレク邸ー内装



旅のヒント

プラハ城近くにある彫刻家、グラフィック・アーティストの**ランチšek・ビーレク**の邸も一見の価値あり。粗造りの煉瓦建てのファサードを持つこのアールヌーボー式の館は、柱が穀物畑を、また独創的な半円形の建物が鎌を象徴しています。内部には、ビーレクの創作活動最盛期の彫刻作品が常設展示されています。

フ広場の**グランド・ホテル・ヨーロッパ**(Václavské náměstí 25-27)と同様に、市民会館の中にも、完成当時の内装を完全に残しているアールヌーボーの喫茶店があります。その他プラハ市内のアールヌーボー建築としては、正面外壁に巨大なチェコのライオンの紋章が描かれている**プラハ保険会社**の建物(Národní 7)、19世紀から今日に至るまで展覧会、見本市会場として使用されているホレショヴィツェ地区のヴィースタヴィシュチェ(見本市会場)構内にある**産業宮殿**、そして当時ヴィノフラディ地区の豊かさのシンボルでもあった堂々たる**ヴィノフラディ劇場**の建物(náměstí Míru)などが挙げられます。

対称的な古典主義とアンピール様式

古典主義は、古代を模範にしたもので、バロック風の装飾要素を一切排し、質素簡潔を理想としています。その代表的建築物が、オヴォツニー・トウルフ通りに立つ**エステート劇場**。この劇場はモーツァルトのお気に入りでもあり、1787年ここでその世界初演が行われたオペラ「ドン・ジョバンニ」は、この劇場のために特別に作られたものとされています。チェコ人映画監督ミロシュ・フォアマンのアカデミー賞受賞作品「アマデウス」も、この劇場で撮影されました。この他プラハの古典主義、あるいはアンピール様式の建物としては、ナ・プシーコピェ通りの**聖十字架教会**、共和国広場の**ヒベルンの家**、そしてペトシーンの丘の麓に立つ**キンスキー邸**などが挙げられます。

19世紀末を語る建築物

この時代を代表する建物の中で最も重要なものは、バーツラフ広場の最上部を占める壮大なネオルネッサンス式の**国立博物館**、そしてコンサート会場となっている、ヤン・バラフ広場の**ルドルフィヌム**です。またチェコを代表する劇場・**国劇場**の、ブルタバ河岸に立つ美しい建物は、民族的アイデンティティーのシンボルとなってい



聖ルドミラ教会

旅のヒント

ネオルネッサンス式の**ペレ邸**(Pelléova 10)には、アフリカ芸術コレクション、及びチェコ人画家イジー・アンドルレを回想する作品が常設展示されています。

また音楽体験には、エステート劇場のモーツァルトのオペラ「**フィガロの結婚**」がお勧め。イタリア語のオリジナルに英語の字幕付きで上演されます。

ます。その金色の装飾ゆえ、この劇場は「黄金の礼拝堂」とも呼ばれています。宗教建築物としては、ヴィノフラディ地区・平和広場に聳え立つネオゴシック式の**聖ルドミラ教会**、そしてプラハで最も際立ったシルエットを形成する建物の一つ、**ヴィシェブラッド**の**聖ペトルとパベルのバシリカ**などがあります。



国立博物館



エステート劇場

キュービズムのプラハ



コヴァジョヴィッチ邸



キュービズムの陶器 - パベル・ヤナークの作品



黒い聖母の家

鋭角、幾何学的形態、水晶構造…これらが独創的な建築様式、チェコ建築キュービズムの建物のファサード、そして内部を飾る典型的な特徴です。

キュービズムの建物の中でも最も有名なものは、チェコ人建築家ヨゼフ・ゴチャールの作品、**黒い聖母の家** (Ovocný trh 19) です。この建物内には、シャンデリアが美しいキュービズムのオリジナル・カフェ、そしてキュービズム様式にインスピレーションを得たデザイナーの宝飾品、陶磁器、照明などが並べられている売店「クビスタ」があります。なお建物の名称は、外壁の角に立っているバロック式の黒い聖母像に由来しています。

プラハ・キュービズムを訪ねて

ヴィシェフラッドの下には、建築家ヨゼフ・ホホルの作品、プラハで最も美しいキュービズム様式の集合住宅が3軒見られます。まず市電のヴィートニュ駅の近くにある**コヴァジョヴィッチ邸** (Libušina 3)、次にネクラノヴァ通りとプシエミスロヴァ通りの角に立つ、建築キュービズムの頂点とも言える、4階建の集合住宅。そして3番目の建物は、町の中心部からポドリー地区へ向かう市電の線路のすぐ隣、ヴィシェフラッドの崖下にある、2階建ての「**3練住宅**」です。



旅のヒント

プラハの中心街散策の際には、ユングマン広場に立ち寄ってみてください。ここには、人造石、金属、そしてガラスから造られた珍しいキュービズム様式の街灯がみられます。この街灯の保存は、ロンドンの王立メディアセンターなどを手掛けた世界的に有名なチェコ人建築家、ヤン・カブリツキーなどの積極的働きかけにより決定されました。

プラハ城



フラツチャニのパノラマ

太古の昔から歴代チェコ王の本拠地であったプラハ城では、中世から20世紀までの様々な建築様式の建物に出会うことができます。今日城はチェコ共和国大統領府ともなっていますが、構内の大半は一般公開されています。

聖ビート大聖堂 (1) は、数あるプラハの教会の中でも、最も大きく、最も重要な聖堂の一つです。アルフォンス・ミュシャが手掛けたアールヌーボー式ステンド・グラス、歴代チェコ王のゴシック式墓標、そしてチェコの守護聖人・聖バーツラフの礼拝堂をじっくりご見学ください。準宝石で飾られた聖バーツラフ礼拝堂の中には、チェコの戴冠宝物である王冠、王笏、王の林檎が納められている部屋があります。戴冠宝物は、ごく稀にしか公開されません。教会南側の塔入り口のすぐ隣にある黄金の門では、上方の貴重なモザイクをお見逃しなく。また塔の上からは、城とプラハの素晴らしい景色が眺められます。

旧王宮 (2) は、16世紀までチェコ王の本拠地として使用されていました。内部ご見学の際には、ヴラジスラフ・ホールの見事な後期ゴシック式アーチ天井にご注目ください。**聖イジーのバシリカ** (3) は、中央ヨーロッパで最も古い宗教建築物の一つと言われています。920年に設立されたこの教会は、後に壮麗なバロック式に改築された

外壁正面部分を除けば、そのロマネスクの特徴を今日に至るまで忠実に残しています。**黄金の小道** (4) に立ち並び、小さな窓と煙突を持つ色鮮やかなの家々には、20世紀半ばまで職人や芸術家などが実際に住んでいました。そんな住人の一人が、フランツ・カフカだったのです。

王家の庭園内の**王妃アンナの夏の宮殿** (5) は、様々な催しの会場として、そして休息の場として建てられたものです。宮殿前の公園には、「歌う噴水」が見られます。

ダリボルカ塔 (6) は、もともと城の要塞の一部を成していました。今日ここでは地下牢を見学することができ、またプラハ城下の**鹿の堀** (7)、ルドルフ二世が鹿狩りに通っていた鬱蒼とした谷間を望む素晴らしい景色を楽しむこともできます。

長さ90mの**乗馬学校** (8) は、貴族の乗馬訓練所として使われていました。現在は造形芸術の展示会場となっています。

旅のヒント

プラハ城では、**衛兵交替**もお見逃しなく。ファンファーレの音と共に、毎日正午に第一の中庭で行われます。





旧市街市庁舎の塔から見たプラハの眺め

プラハのパノラミックな景色は、本当に息をのむ美しさ。プラハ城から眺めると、町のいたるところに教会、その他の建物の大小の塔が突き出しているのがわかります。このためプラハは「百塔の町」と言われているのです。

最も登りやすい塔は、完全バリアフリーの旧市街市庁舎の塔です。約60 mの高さから、旧市街広場全体、そして周囲の建物の屋根を望む素晴らしい景色が楽しめます。階段の段数が最も多いのは、パリ・エッフェル塔の妹分とも言うべきベトシンの展望台で、299段あります。展望台の高さは60 mに過ぎませんが、プラハっ子のお気に入りの散歩コース、**ベトシンの丘**の頂上という最高の場所に位置しています。ここからは、天気が良ければ、チェコ歴史上重要な意味を持つ山・ジープも遠景に見ることができます。最も遠くまで見渡せるのは、**ジシュコフのテレビ塔**です。プラハで最も高い建物(216 m)であるこの塔からは、天気に恵まれれば、国の北端にあるクルコノシェ山脈の尾根も望めます。塔の壁には、これに沿って這っている巨大な赤ん坊の像が見えますが、これは彫刻家ダヴィッド・チェルニーの作品です。

聖ミクラーシュ教会から見たマラー・ストラナの景色



プラハ城の最も美しい全景が眺められるのは、**聖ビート大聖堂**の287段の階段を登り切ったところにある塔です。この塔の奥には、ズイクムンドと名づけられたチェコ最大の鐘が納められています。この他プラハの塔の見所としては、マラー・ストラナの**聖ミクラーシュ教会**の鐘楼、**カレル橋**の旧市街側、及びマラー・ストラナ側の塔、あるいは**火薬塔**などが挙げられます。またプラハの塔のみならず、**ヴィシェフラッド**、ベトシン、フラツチャニ、レトナーの丘等、周辺の公園、丘の上からも、プラハを鳥瞰図しながら、掌にのせたように見ることができます。

旅のヒント

プラハ城とカレル橋の**写真**は、スメタナ河岸通りから撮るのが最適です。

またプラハのバーチャル・ツアーは、stovezata.praha.euで体験することができます。ここでは様々な塔から見た町の**360度のパノラマ・ビュー**が紹介されています。

大地図から👁️の印をお選びください。プラハの最も美しい景観をたづねて鑑賞いただけます。



ベトシンの丘からの景観

精神文化のプラハ



カレル橋の聖ヤン・ネポムツキー像

プラハは、何世紀にも渡って、キリスト教文化とユダヤ文化の交差点に形成されてきた町です。その豊かな精神文化は、ロマネスクの時代から近代にいたるまで建てられ続けてきた何十もの教会、そしてユダヤ教のシナゴグにより証明されています。

プラハの巡礼地としてまず挙げられるのが、サンタ・カーサ（聖なる家）と主の降誕巡礼教会から成る**ロレッタ**です。ここでは毎正時に美しい音楽を奏でるカリヨンをお聞き逃しなく。またここにはロレッタの宝物も納められていますが、中でも最も価値が高いのは、6222個のダイヤモンドがはめ込まれた聖体顕示体です。

勝利の聖母マリア教会（Karmelitská 9）にもまた世界中から多くの巡礼者が訪れ、ここに納められている**プラハの幼少キリスト像**に保護、健康、そして出産に際しての助力を求めて、祈りを捧げています。この高さ47 cmの小像は、スペインから運ばれてき

旅のヒント

勝利の聖母マリア教会では、カルメル会修道女が典礼の習慣に基づきプラハの幼少キリスト像を着せ替えますが、その**服の収集**も見ることができます。

毎年5月には、音楽を奏でながらブルタヴィ川を漂う何十隻ものベニスのゴンドラ、中世の船の姿が見られますが、これは聖ヤン・ネポムツキーを記念して行われる光と音楽、そして花火の祭典、**聖ヤン祭**です。

たもので、祝福するキリストを具現しています。

チェコの聖人

最も有名なチェコ人聖人は、チェコの守護聖人の一人として世界中で知られている**聖ヤン・ネポムツキー**です。1393年殉教後、その遺体はカレル橋からブルタヴィ川に投げ捨てられました。頭上に5つの星を冠する聖ヤン・ネポムツキーの彫像は、国内どの地方にも見られ、チェコの景観になくしてはならない存在となっています。一方、チェコ国の最も重要な守護聖人として、チェコ国体の象徴となっているのが、チェコ王・**聖バーツラフ**です。その堂々たる騎馬像は、バーツラフ広場の上に見ることができます。

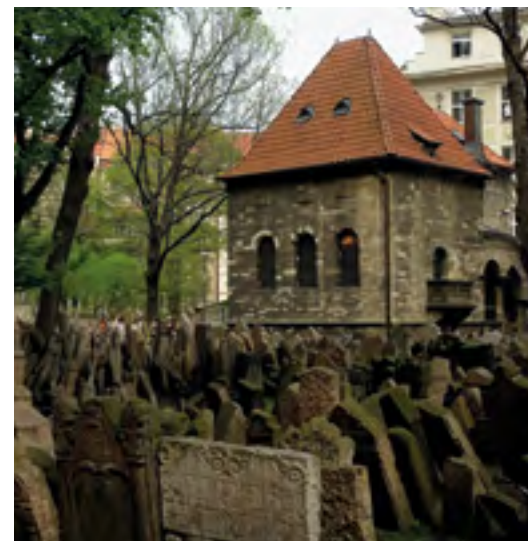
プラハの幼少キリスト像



ユダヤのプラハ

ユダヤ人は、既に11世紀からプラハに定住していました。今日ヨゼフオフ地区に見られる歴史ある数々のシナゴグは、プラハが常に中欧ユダヤ社会、ユダヤ人の宗教生活、社会生活の中心地であったことを物語っています

マイゼル・シナゴグ (1) は、富裕なプラハ・ユダヤ地区長、モルデハイ・マイゼルが、約500年前に建てさせたものです。ゲットー最大の**クラウス・シナゴグ** (5) も同様です。**ピンカス・シナゴグ** (2) には、ナチスにより北ボヘミア・テレジーンの強制収容所に連れ去られ、その大半が命を失ったプラハのユダヤの子供達が描いた4,000点を超える絵が展示されている他、壁には、この時代の犠牲になった80,000人のユダヤ系チェコ人の名が、手書きで記されています。**旧ユダヤ人墓地** (3) には、12,000もの墓標が並んでいますが、その中には、ゴーレムという伝説上の怪人の生みの親とされているラビ・レーブの墓石も見られます。**旧礼拝所** (4) 及び遺体安置所の建物は、20世紀初頭にネオロマネスク様式で建てられたもので、現在は展示会場となっています。そして数あるプラハのシナゴグの中でも、最も古く、最も美しいのが、**旧新シナゴグ** (6) です。壮大なレンガ造りの切妻で飾られたこのシナゴグは、伝説によれば、上述の怪人・ゴーレムが隠されていた場所でもありました。また壮麗な**スペイン・シナゴグ** (7) は、15世紀、カスティリーヤ女王、イザベラ一世により国を追われ、スペインから移住してきたユダヤ人が住んでいた場所に建てられたものです。



旧ユダヤ人墓地



旅のヒント

プラハ生まれの作家**フランツ・カフカ**の「変身」、「城」、あるいは「審判」といった作品は、プラハでなければ生まれ得なかったと言われていています。ナードニー通り22番のカフェ・ルーブルは、カフカがよく通ったことで知られていますが、ここはまた、物理学者**アルベルト・アインシュタイン**が、プラハ滞在の際しばしば立ち寄った場所でもありました。カフェでは、この他「スラビア」も、フランツ・カフカ、そして後年には作家**ミラン・クンデラ**が好んで通ったところとして知られています。

一方旧ユダヤ人墓地には、**ラビ・レーブの墓標**に、願いを書いた紙を置いて行く観光客が後を絶ちません。ラビが巡礼者の願いを叶えるとされているためですが、最近では当地を訪れたオバマ大統領夫人も試してみたとか。貴方も是非一度試してみてください。

ガイド付きプラハ観光



ユダヤのプラハ 旧ユダヤ人ゲットー、その住人、そして著名な人々の運命を探ります。



フランツ・カフカの軌跡を求めて カフカが通った場所、住んでいた場所、そしてその密かな希求にのめりこんでいた場所をご紹介します。



スペイン・シナゴグ前のフランツ・カフカ像

ロマンチック・プラハ



スメタナ河岸通り



ロマンチックなプラハの結婚式



ペトシーンから望むプラハの眺め

プラハは、まるでロマンのために創られたような町。古い街頭の光に映し出された狭い小道の夜の散策、旧市街の古びた街角、花で香りで満たされたペトシーン公園の散歩、ブルタバ川のボート乗り、河岸のピクニック等々、いつでもどこでもロマンチック体験ができる町、それがプラハなのです。

ロマンチックな**カンパ**は、マラー・ストラナ、**カレル橋**のたもとにある中州です。ここはもともと、チェルトフカと呼ばれる水車用水路で岸から切り離された場所で、その水車は今日も当時の姿のまま残されています。また橋下から色とりどりの家や小さな広場を抜けて行くと、川岸に広がる美しい公園に出ることができます。この他、ブルタバ川に浮かぶロマンチック・スポットとしては**射撃島**も挙げられます。島の芝生は最高の休息場を提供してくれますし、また特に夕暮れ時にここから望む国民劇場の眺めは最高です。ロマンチックな散歩コースとして人気があるのは、**レトナー公園**、そして**ストロモフカ**と呼ばれる旧王家の保護林で、後者はプラハ市民お気に入りのピクニックの場ともなっています。またプラハの中心に立つ丘**ペトシーン**では、5月、桜の花が満開となる頃にロマンチック・ムードが最高潮に達します。丘の頂上には展望台、そして鏡の迷路がありますが、そこには、既に開通して100年以上になるケーブルカーで上ることができます。

旅のヒント

夕暮れ後、例えばプラハ城から町を見下ろすと、順々に建物が**ライトアップ**されていく様を眺めることができます。まず10世紀の建物が、そして以後3分ごとに1世紀新しい建物が徐々に明かりに照らされていきます。

またスラブ島でオール付き**ボート**、あるいは**足漕ぎボート**を借りて、水面からカレル橋、ギャラリー「ソヴァの水車」、射撃島を眺めると、かつてブルタバ川を航行していた木材運搬船の船乗りのような気分を味わうことができます。

神秘のプラハ

プラハは、伝説と怪談に満ちた町。中には中世に由来するものもありますが、大半はファンタジー世界の枠を超えるものではありません。プラハ散策の際には、こうした昔のファンタジーの産物、首なし騎士、悪魔、あるいは魔術師などの物語にも耳を傾けてみてください。

中世プラハの伝説の中でも最も有名なものは、怪人・**ゴレーム**に関する物語です。ゴレームは、ユダヤ人学者、ラビ・レーブが、ユダヤのゲットーを外敵から守るため、粘土から創り上げたものとされており、伝説によると、レーブはこの怪物を旧新シナゴグの屋根裏に隠しておいたということです。

マラー・ストラナの聖ミクラーシュ教会内に見られる「**聖ザビエルの死**」と題する絵には、秘密が隠されていると言われています。絵をじっくり観察し、この謎を解いた者に

は、莫大な富が与えられるとのことでした。

カレル橋の橋桁に立っている彫像は、**騎士・ブルンツビーク**像です。中世の伝説によると、ブルンツビークはある日竜に襲われたライオンを救い、以来ライオンは騎士の旅の供をするようになったということですが、このライオンが後にチェコ王家の紋章となったと言われています。またブルンツビークの剣は、その死後、橋桁に埋められ、チェコに最大の危機が訪れたときに、再び姿を現すと伝説は語っています。



聖ミクラーシュ教会内の絵画「聖ザビエルの死」



黄金の小道



劇団「ラテルナ・マギカ」の公演風景

旅のヒント

国民劇場の新館 (Národní třída 4) では、劇団**ラテルナ・マギカ**の公演が行われています。ここでは言葉を一切使用せず、映像とダンス、音楽、光、そしてパントマイムを組み合わせたユニークなショーが楽しめます。例えば「神秘のプラハの伝説」では、ゴレームや、ルドルフ二世の宮廷の錬金術師などが登場します。詳細は、www.laterna.czをご参照ください。

ガイド付きプラハ観光



プラハの伝説、怪談ツアー「**プラハ・バイ・ナイト**」
首なし騎士、埋もれた財宝、焼身男等々、伝説・怪人探求ツアー



ホテル・マンダリンの屋上レストラン

今日のプラハは、様々なレストランが立ち並び、世界中のありとあらゆる食べ物を提供するコスモポリタンの町。しかし、この味覚と香りのバビロンの中にあっても、チェコの生ビールと南モラビアのワインを添えた伝統的なチェコ料理のレストランは、どこでも容易に見つけることができます。

チェコ料理は、数世紀に渡って、中央ヨーロッパというその地理的位置に影響を受けて形成されてきました。チェコ料理自体も、オーストリア、あるいはバイエルンの料理に大きな影響を与えましたが、それでも現在までその極めて独特な性質を維持しています。チェコの典型的な料理としては、肉と様々な種類のソースにクネドリーキ（ダンプリング）を添えたもの、鶏肉のグリル、川魚、濃い口のスープ、甘いパンケーキ、そしてビールの肴としてのコールド・メニュー等が挙げられます。飲み物はやはりチェコ・ビール。プラハには、有名なチェコ・ビールを求めて、世界中からグルメが集まって来ます。ビールはレストラン、バーどこでも味わうことができますが、やはり一番美味しいビールを提供しているのは、いわゆる醸造所レストラン。これは真鍮のタンクでその場で醸造されたビールを、たいてい階に分かれた広い空間でサーブしている店を指します。ビールに最も合う料理としては、辛味のグラッシュ、ロースト・ダック、豚の膝肉のグリル、あるいは軽いコールド・メニュー、「ウトペネツ」と呼ばれる酢漬けソーセージなどがあります。



ラディソン・ブルー・アルクロン・ホテル

旅のヒント

プラハで最高のグルメ体験ができるレストランは、ホテル・ラディソン・ブルー（Štěpánská 40）内レストラン「アルクロン」、そしてミシュラン・ガイドで星印を獲得した「ラ・デギュスタシオン・ボエム・ブルジョワーズ」（Haštalská 18）。

チェコ・レストランでは、「スヴィーチコヴァー・ナ・スメタニエ」を試してみてください。これは、野菜とクリームソースがかかった牛のヒレ肉に、クネドリーキを添えたものです。また質の高いレストランで希望の場合は、「Czech Specials」と表示されている店をお選びください。これは質の良いチェコ料理、更に店の快適な雰囲気を保証するものです。その他チェコ料理に関する詳細は、www.czechspecials.czをご参照ください。



プラハではまた農家直売市場も定期的に関われています。ここでは、チェコの生産地から運ばれてきた手作りのチーズ、ソーセージ、魚、デザート、そしてワインなどを買うことができます。中でも大規模なものは、イジーホ・ス・ボジェブラッド広場、あるいはパラツキー橋近くの川岸などで開催されています。



スヴィーチコヴァー・ナ・スメタニエ



二人のディナー



オペラ「ドン・ジョバンニ」

チェコの音楽といえば、誰もがアントニン・ドヴォジャーク、そしてベドジフ・スメタナの名を思い浮かべます。この二人の大作曲家とその世界的に有名な曲を生み出す上で、プラハは多大なインスピレーションとなっていました。

アントニン・ドヴォジャークの交響楽第9番「新世界より」は、アメリカの宇宙飛行士が初めて月に降り立ったときに流れ、人々に新たな感動を与えましたが、そのドヴォジャークの生涯は、ヴィラ・アメリカ内の博物館 (Ke Karlovu 20) で詳細に知ることができます。

ベドジフ・スメタナの博物館は、カレル橋近くの歴史的な建物 (Novotného lávka 1) の中にあります。ここでは、例えば交響詩「ブルタバ」などスメタナの代表的作品を鑑賞することもできます。「我がプラハ市民は私を理解してくれる」これは**ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト**の有名な言葉で、この天才がプラハの人々に対して抱いていた気持ちを良く表現しています。モーツァルトのプラハ滞在と最も関係の深いゆかりの場所は、そのオペラ世界初演が行われた**エステート劇場**、そしてしばしばオルガンを演奏した聖ミクラシュ教会です。

ファン必見の音楽祭

プラハの春 - 5月から6月にかけて毎年開催されるクラシック音楽祭。会場はルドルフィナム、市民会館など **秋のストリング** - 様々な音楽ジャンルの架け橋。秋にルドルフィナム、エステート劇場などで開催。 **夏の夜の夢** - 夏の終わりにカレル橋近く、ブルタバ川に浮かぶ舞台で開催。 **ユナイテッド・アイランズ** - 様々なジャンルの音楽フェスティバル。夏にブルタバ川の中州で開催。

旅のヒント

チェコ音楽博物館 (Karmelitská 2/4) には、ベドジフ・スメタナのピアノなどが展示されており、またオリジナルの録音も聴くことができます。またホレショヴィツェ地区・見本市会場内にある**クシジークの噴水**では、音楽と水と光の完璧なハーモニーが楽しめます。

特に夏のシーズンには、チャイコフスキーの「白鳥の湖」、「くるみ割り人形」などバレエ作品を鑑賞することもできます。
www.krizikovafontana.cz

ガイド付きプラハ観光



プラハ音楽ツアー ドヴォジャーク、モーツァルト、スメタナ、そしてジョン・レノンゆかりの場所を巡ります。

プラハの中心街には、チェコの前大統領、バーツラフ・ハベル(1936-2011)の人生に深い係わり合いを持つ建物が幾つか見られます。作家であり、反政府活動家であり、共産党政権時代、政治犯として投獄されていたハベルは、中東欧の現代史上、そして文化史上最も重要な人物とされています。

バーツラフ広場は、1980年代、当時の共産党政権に反対するデモが繰り返行われていた場所です。民主運動のリーダーであったバーツラフ・ハベルは、1989年11月、広場を埋め尽くした民衆の前に、**メラントリツヒ宮殿** (Václavské náměstí 36) のバルコニーから、その後の民主主義への方向を定める重要な演説を行いました。その近くに立つ**ルツェルナ宮殿** (Vodičkova 36) は、20世紀初頭にハベルの祖父に当たる人物が建てたものです。当時、ルツェルナはモダニズムの頂点とされており、ここには映画館、喫茶店、ダンスホール、そしてミュージック・クラブがありました。ルツェルナのアーケードには、天井に聖バーツラフやのモダン・バージョンとも言える**騎馬像**が下がっているのが見られます。これは、チェコ人彫刻家ダヴィッド・チェルニーの作品ですが、チェルニーは、ジシュコフ・テレビ塔のハイハイする赤ん坊像の作者としても知られています。

ルツェルナ宮殿



バーツラフ・ハベル

旅のヒント

ギャラリー「モンマルトル」 (Řetězová 7) では、「**バーツラフ・ハベル: チェコの神話、あるいはハベル概略**」と題した常設展示が見られます。これはハベルの生涯を記録したもので、これを通してチェコ社会の変遷を知ることができます。

ガイド付きプラハ観光



プラハ現代史巡り 欧州中央の現代史と深く結びついた場所をご案内いたします。

Václav Havel

プラハの思い出



ショッピング

人は旅先から家路につくとき、様々な体験と思い出を持ち帰りますが、その中には具体的な物品も含まれます。これらは壁や棚に飾ったり、食べたり飲んだり、あるいは着たり、読んだり聴いたりして楽しむものです。プラハもこんな思い出の品を豊富にご用意しております。

チェコにしかない、オリジナルの品をご希望の方は、**チェコ・ガーネット**をお忘れなく。チェコのガーネット加工は、14世紀に開始されたという伝統工芸で、この宝石は治療効果もある奇跡の石とされています。商品の質が保証されている店としては、ドロウハー通り14番の店 (Dlouhá 28) がお勧めです。

チェコで最も伝統ある、そして最も人気のある工芸品といえば、やはり何と言っても**ボヘミアン・ガラス**でしょう。プラハではいたるところに、ハンドメイドのカット・ガラス製花瓶やボウル、グラスや人形などでウィンドウを飾った店が見られますが、最も有名なブランドはモーゼル (Na Příkopě 12)、そしてプレツィオーザ (Jindřišská 19) です。またモダンなデザインがお好みの方は、ロニー・プレスル、イジー・ペルツル、ボジェク・シーベック、あるいはオルゴイ・ホルホイといったチェコの一流ガラス工芸家の名をお忘れなく。

ガラス工芸に限らず、他の造形芸術部門においても、**モダン・デザイン**のファンという方には、国内外のデザイナーの作品が展示販売されているギャラリー「クシェフキー」(Osadní 35)、そしてチェコ・キュービズム、機能主義、そして現代のチェコ人デザイナーのガラス、陶器、宝飾品などが買える「モデルニスタ」(Celetná 12) がお勧め。更にギャラリー & ショップ

「ドックス・バイ・クプス」(Poupětova 1) もお見逃しなく。ここでは、例えば若手チェコ人デザイナー、マキシム・ヴァルチョフスキー、そしてヤクブ・ベドリフが創設したスタジオ「クプス」(Rámová 3) の作品等、現代チェコのデザイン、コンセプトを代表するセレクションが楽しめます。

モーゼル・ガラス・ショップ



「デザインブロック」のファッションショー

一方、質の高いオリジナル**ファッション**をお探しの女性には、贅沢な女性用ブレタボルテの店、チェコ人若手デザイナー、クララ・ナデムリーンスカーのブティック (Dlouhá ulice 3) がお勧め。同じアドレスには、より保守的なモードがお好みの方向きのデザイナー、ベアタ・ライスカーのブティック、そして画家、デザイナー、ナタリ・ルデンのブティックもあります。また世界の一流ブランドの店は、河岸と旧市街広場を結ぶ大通り、パジーシュスカー (パリ通り) に軒を並べています。

旅のヒント

毎年10月第1週には、プラハのギャラリー、店舗で国際デザインショー「**デザインブロック**」が行われますが、ここでは国内外の一流デザイナーが手がけた家具、アクセサリ、ガラス、調度品などの展示を見ることができます。

子供向けには、ハンドメイドの**マリオネット**あるいは、チェコ人気アニメ・キャラクター、クルテク (もぐら君) のぬいぐるみなどはいかがでしょう。またレトロの木製、あるいはブリキ製のおもちゃも人気を呼んでいます。



ロニー・プレスルの花瓶



マキシム・ヴァルチョフスキー - ゴールデン・ライン

スケジュール案



ロレタ



ブルタバとカレル橋

プラハは、驚きに満ちた町。これら全てを知るには1日ではとても足りません。しかしながらプラハに1、2日しかいられないという方々のために、ここにプラハの美を効率的に知るためのプランを考案してみました。皆様のご参考になれば幸いです。

1日目

スタート地点はやはり**フラツチャニ**。ポホジェレツから、現在外務省となっている建物、**チェルニーン宮殿**へと歩いていきます。ここで**ロレタ**のサンタ・カーサに立ち寄り、その貴重な財宝をご覧ください。またカリヨンもお聞きのがしのないように。次に**ストラホフ修道院**を抜けて、**ペトシーン展望台**へお進みください。高さ約300 mの展望台からは、町全体を見渡す素晴らしい景色が楽しめます。ここから再びフラツチャニ広場へ戻ります。広場では聖母マリアのペスト柱、そして初代チェコスロバキア大統領、トマシュ・ガリク・マサリクの彫像にご注目ください。さて、ここからいよいよ**プラハ城**へと入っていきます。城はプラハ観光のメインですから、十分な時間をとる必要があります。城内必見の場所は、聖ビート大聖堂そしてかつて錬金術師が住んでいたといわれている黄金の小道です。第一の中庭に正午前に居合わせた場合には、ファンファーレに合わせた有名な**衛兵交替**も目にすることができます。また4月から11月の期間には、**プラハ城**内の美しい庭園も見学できます。

2日目

プラハ2日目は、旧市街とマラー・ストラナの観光に当てましょう。スタート地点は**市民会館**です。ここから作家フランツ・カフカが住んでいた (Celetná č. 2 a 3) **ツェレトナー通り**を、旧市街広場へと歩いていきます。まず**黒い聖母の家** (Ovocný trh 19) に立ち寄ってみましょう。ここでは、売店でユニークなキュービズムのアクセサリや花瓶を買うこともできます。**旧市街広場**では、毎正時に人形が現れる**プラハ天文時計**をお見逃しなく。またティーンの前の聖母マリア教会、及び周囲に立ち並ぶ建

物の美しいファサードもじっくりご覧ください。次の見所は、旧市街広場から歩いてすぐのところ、**ヨゼフ地区にある旧ユダヤ人街**です。ここでは旧新シナゴーク、そして旧ユダヤ人墓地が必見です。また同じ地区内、ドゥシュニー通りとヴェゼニウスカー通りの角には、一風変わった**フランツ・カフカの彫像**が見られます。ショッピングに来られた方には、ここからすぐ近くの**バリ通り**に出て、そこに並ぶブランド店に足を運んでみてください。

更にプラハ散策は、**カレル橋**へと進んでいきます。カレル橋は、ブルタバ川に架かる最古の橋、そしてチェコで二番目に古い石橋です。橋の向こう側は、絵に描いたように美しい地区、マラー・ストラナですが、ここではその手前にあるブルタバの中洲、**カンパ**に立ち寄ってみましょう。ここにはレストランやカフェのほか、広大な公園、そして現代美術館などがあります。またブルタバ川の支流チェルトフカ、そして水車がのどかでロマンチックな風景を創り出しています。

衛兵交替



3日目以降

その他の見所:

ヴィシェフラッド

町の中心部からブルタバ川上流へと向かっていくと、左手に岩壁が見えて来ますが、その頂上にあるのが、歴史と伝説に包まれたチェコ最古の王の居住地・**ヴィシェフラッド**です。ここからはプラハ全体を見下ろす素晴らしい風景が望め、また夏季には野外シアターやコンサートを楽しむこともできます。

ダンシング・ハウス

ラシーン河岸通りでは、1990年代に建てられた踊る家、**ダンシング・ハウス**に注目。建物の二つの塔が、ダンスをしているジンジャー (ガラスの塔) とフレッド (石造りの塔) を連想させることから、その名が付けられました。建築家フランク・ゲーリー的设计に従って建てられたものですが、内装の一部にチェコ人女性建築家、エヴァ・イジチナーのデザインも見受けられます。この建物は、1996年、タイム誌で高く評価されたことでも知られています。

夜のペトシーン

ペトシーンの丘は日暮れに最もロマンチックな時を迎えます。ウーイエズドから頂上まで、木々に囲まれた小道を歩いていくこともできますし、ケーブルカーで上ることもできます。展望台の下には、大人でも楽しめる鏡の迷路があります。



ダンシング・ハウス



ヴィシェフラッド



HRADČANY

PRÁŽSKÝ HRAD

MALÁ STRANA

JOSEFOV

STARÉ MĚSTO

NOVÉ MĚSTO

SMÍCHOV

VYŠEHRAĐ

プラハ地下鉄マップ



チェコツーリズム インフォメーション・センター

www.czechtourism.com

Staroměstské nám. 5, Praha 1
Vinohradská 46, Praha 2

ツーリスト・インフォメーション・センター

www.praguewelcome.com

Staroměstské náměstí 1 – 旧市街市庁舎内
Rytířská 31

メイン・ステーション(プラハ本駅)構内
マラー・ストラナ側の橋門塔(4月~10月)
プラハ・パーツラフ・ハベル空港、ターミナル2

地図記号



鉄道、駅
バス・ターミナル
地下鉄駅
教会ー礼拝堂ーシナゴーク
見晴らしの良い場所
船着き場
ユネスコ・ゾーン境界線

発行者

チェコツーリズム Vínohradská 46, 120 41 Praha 2
チェコ共和国公式観光案内
www.czechtourism.com

プラハ市 Mariánské nám. 2, 110 00 Praha 1
www.praha.eu

第1版 2012年発行

本文: スタニスラフ・シュコダ、チェコツーリズム
翻訳: ケイコ・ナカガワ

写真: トマーシュ・ブラベツ、パトリク・ボレツキー、バヴェル・フロフ、ミロスラフ・クロブ、ロマン・マレチェク、モーゼル社、ペトル・ナジツ、ラジスラフ・レネル、国民劇場(写真: ハナ・スメイカロヴァ、リボール・スヴァチェク、ガブリエル・ウルバネク、ミハル・ヴィタセク)、チェコツーリズム及びプラハ市役所アーカイブ、プラハウエディングスコム、ストックフォトグラフィエージェンシーズ、シンストック、イスファ、フォトキ&フォト、プロフィメディア

地図データ: プランスタジオ社, www.praguecityline.cz

グラフィック: M. I. P. グループ社

印刷: F.P. プリント社

ISBN: 978-80-87560-26-6

本書におけるデータは全て念入りの校正をしておりますが、発行者は各データの責任は一切負いません。

非売品

Relax onboard Czech Airlines wherever you fly

Enjoy our onboard service for affordable fares.
Book now at czechairlines.com

www.czechairlines.com



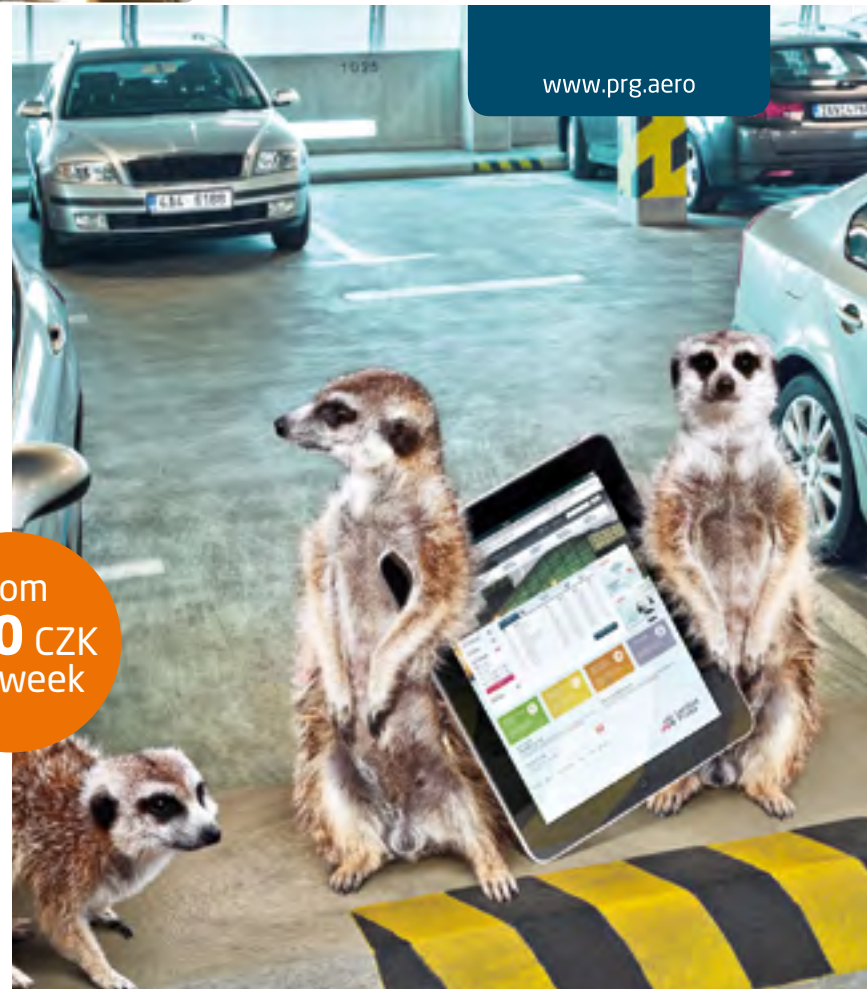
KEEP AN EYE OUT FOR CHEAPER PARKING

ONLINE RESERVATIONS
AT WWW.PRQ.AERO

Park comfortably and conveniently
in our secure garages. Online
reservations for covered parking areas
available online at discount prices.

from
750 CZK
per week

Reach the World



www.prg.aero

www.czechtourism.com
www.praguewelcome.com

プラハ

CzechTourism
Vinohradská 46
120 41 Praha 2
info@czechtourism.cz

